

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。
- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができている。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。

【算 数】

- 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができている。
- 立方体の体積の計算による求め方について理解している。
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「生活の中で幸せな気持ちになることがある」と思っている児童が多い。
- 「友達関係に満足している」と思っている児童が多く、良好な人間関係が築かれている。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・算数科「数と計算」領域における習得型授業（自由進度学習を含む）の推進
- ・内容や書き方を明確にした書く活動の積み上げとメタ認知を高める振り返りの実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・上記の効果があつた取組の継続、深化
- ・根拠を示しながら自分の考えを説明する活動を位置付けた授業づくりの推進

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・一人一人が役割を果たし、仲間とともに成功を実感する体験の積み上げ

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・地域に働きかける学習を通して、地域や社会に主体的に参画し、自らの貢献を実感できる授業づくりの推進